

川崎市立高校改革の検討状況をお知らせします。

教育委員会では、「川崎市立高等学校改革推進計画第2次計画」に基づき、市立高校改革の取組を進めてきました。令和6年2月にこの計画の検証結果を公表し、これを踏まえて、新しい高等学校改革の計画策定作業を進めています。

市立高等学校改革推進計画第2次計画の検証結果(R6年2月)

検証結果からの4つの課題

- ① 教科等横断的な学びの強化の必要性
- ② 中高一貫教育の見直しの必要性
- ③ 専門学科の定員割れへの対応の必要性
- ④ 教育ニーズに合わせた定時制課程の在り方検討の必要性

計画策定以降に顕在化した課題

- A) 少子化の進行
- B) 市外流出増加及び通信制課程進学者の増加
- C) 高津高等学校校舎の目標耐用年数経過

今後検討すべき3つの方向性

- “選ばれる”高等学校づくりと少子化に伴う定員減への対応
- 学びを“選べる”高等学校づくりと定員割れへの対応
- 校舎の目標耐用年数経過への対応

検討の方向性 1

魅力化・特色化に取り組み、生徒から“選ばれる”高等学校づくり

検討の方向性 2

多様な学び方から、生徒が学びを“選べる”高等学校づくり

検討の方向性 3

適正な配置及び規模の検討併せて、目標耐用年数経過への対応検討

検証結果及びその後の社会的状況を踏まえた新しい方向性をまとめています。

- 市立高校5校の現状として、専門学科や定時制課程において断続的な定員割れが生じています。
- 推計によると、市内中学校卒業者の数が2040年までに2割減少することが見込まれます。
- 高等学校授業料無償化により、公立高校志願者の減少が加速しています。
- AI技術の進展等により、2040年までに就業構造推計が大きく変化し、特に理系人材、専門的技術的職業が大きく不足することが見込まれるなど、産業構造、就業構造が変化しています。
- これらを踏まえ、川崎市立高校としてあるべき姿を検討し、「今後重視すべき方向性」を定めました。
- これに基づき、令和8年8月に市立高校の将来的な学校像(再編案)をお示しました。11月末には、これらの内容も含めた新たな計画の素案を公表し、パブリックコメントを実施した上で、令和8年度末までに策定する予定です。

今後重視すべき方向性

生きた英語で学ぶ国際教育プログラムと、他者と協力して試行錯誤しながら思考を深め、課題解決策を導く探究的な学び

最新の技術を活用しつつ、文理の枠を超えた学際的・複合的な学び

一人一人の個性に合わせた多様な学習機会の提供による柔軟な学び

産業界と密接に連携した実践的で高度かつ専門的な学び

(⇒高等専門学校の設立へ)

現在公表している川崎市立高校改革の取組の概要

再編案

令和8年8月21日に、市議会へ報告を行いました。

市立高校5校を、特徴的な4校に再編するとともに、高等専門学校の設立を目指します。

スケジュール案

現在の体制	課程	学科	
川崎	全	普通科	機能継承
		生活科学科/福祉科	
幸	全	普通科	機能向上
		ビジネス教養科	
橘	全	普通科	機能継承
		国際科	
		スポーツ科	
	定	普通科	発展
高津	全	普通科	充実
	定	普通科	
川崎総合科学	全	工業5科	機能向上
		科学科	
	定	クリエイト工学科/商業科	機能継承

- 中等教育学校化も含めて検討し、中高一貫教育校(普通科)としての体制強化
 - 探究的な学びの更なる深化
 - 生活科学科及び福祉科の募集停止及び幸高校への機能継承
 - 定時制課程は、機能向上した上で幸高校へ集約
- 探究的な学び
- 単位制とし、3部制の定時制課程及び通信制課程を設置
 - 時間帯を選べる仕組みや課程替え・併修ができる仕組みを導入
 - 福祉やビジネス、工業基礎等も選択的に学べる仕組みを導入
 - ビジネス教養科の募集停止、新・幸高校へ機能継承
- 学びを選べる
- 分野横断的な学びに触れられる学科として、新たな普通科の設置
 - スポーツ科、国際科は継続
 - 定時制課程は、機能向上した上で幸高校へ集約
- 分野横断的な学びへ
- 中高一貫教育校化(普通科)し、国際バカロレア教育(IB)の導入
 - 既存校舎は改築により対応
 - 定時制課程は、機能向上した上で幸高校へ集約
- 国際教育プログラム
- 高等専門学校の開校
- 新設
- 技術者養成機能をさらに発展

市立高校	課程	学科	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度~
川崎	全	普通科	中等教育学校化に向けた検討				中間報告/具体化		
		生活科学科/福祉科				最後の入学生	募集停止		
幸	全	普通科				最後の入学生	募集停止		
		ビジネス教養科		最後の入学生	募集停止				
橘	全	普通科				最後の入学生	募集停止		
		国際科/スポーツ科				最後の入学生	募集停止		
高津	全	普通科				最後の入学生	募集停止		
		国際バカロレア教育導入等に向けた検討				最後の入学生	募集停止		
川崎総合科学	全	工業5科		最後の入学生	募集停止				
		科学科		最後の入学生	募集停止				
	定	クリエイト工学科/商業科		最後の入学生	募集停止				
高等専門学校					募集開始			開校予定	

川崎高等学校附属中学校、高津高等学校全日課程については新しい仕組みを導入するまでの間、引き続き募集を行います。

よくあるご質問への回答

- Q この内容は既に確定しているのか？
- A この内容も含めて、市立高校に関する新たな計画の素案として11月末に公表する予定となっており、その後、パブリックコメントを実施した上で、令和8年度末の計画の策定をもって、確定となります。
- Q 募集停止となる学校・学科で、既に在籍している生徒やこれから入学する生徒の学習環境は保障されるのか？
- A 教育活動に必要な教員数や、教育課程上必要な施設・設備を確保するなど、生徒が在籍している限り、学びの環境に影響を与えないよう、学校管理職等とも連携して対応してまいります。
- Q 新しい学校像のカリキュラムなど詳細は、いつ案内されるのか？
- A 先行して取り組む幸高校及び橘高校については、募集開始(幸：R12年度、橘：R11年度)までに具体化を進め、ご案内させていただく予定です。川崎高校の中等教育学校化及び高津高校の中高一貫教育校化等については、現時点で目標年次は未定ですが、R13年度に予定している中間報告までに、具体化する予定です。

発行・
お問合せ先
(令和8年9月発行)

〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地
川崎市教育委員会事務局学校教育部
TEL:044-200-0419又は044-200-3243
MAIL:88project@city.kawasaki.jp